

RSNPコンテスト2016

気象コントロールロボット

エンターテインメントロボットのコンセプト提案



産業技術大学院大学 産業技術研究科 創造技術専攻

上林昭, 高橋和章, 山田涼馬, 小野敬士, 神田雅泰, 角田善彦,
内山純

気象情報+ロボット = エンターテインメント×インテリア

ビッグデータ、IoT、AI、ロボット関連技術の発達に伴い、それらは、あらゆる分野への活用が進んでいる。特にIoTにより、ビッグデータは爆発的に増大すると考えられ、さらなる活用が期待されている。

例えば、土木用の重機は、世界の何処でどのような使い方をされているのか、また、そのコンディションや消耗品の劣化度合いなどを国内にしながらにして把握し、交換時期や故障を予測し、事前に対処できる。

日常的に馴染みのある天気予報は、一般的に入手しやすい情報のひとつでありこの気象情報の活用についても、多くの提案がなされ、また実現されている。農業のスマート化などが代表的な例として挙げられる。

これらの例のように、多くの場合は、役立つことやビジネスに直結するために使われる。

しかし、もっと気軽に使ってみても良いと考え、これをヒントにビッグデータやRSNPの活用のすそ野が広がることを期待し、気象情報とロボットを連携させ、エンターテインメント性をもったインテリアのコンセプトを提案する。

気象情報+ロボット = エンターテインメント×インテリア



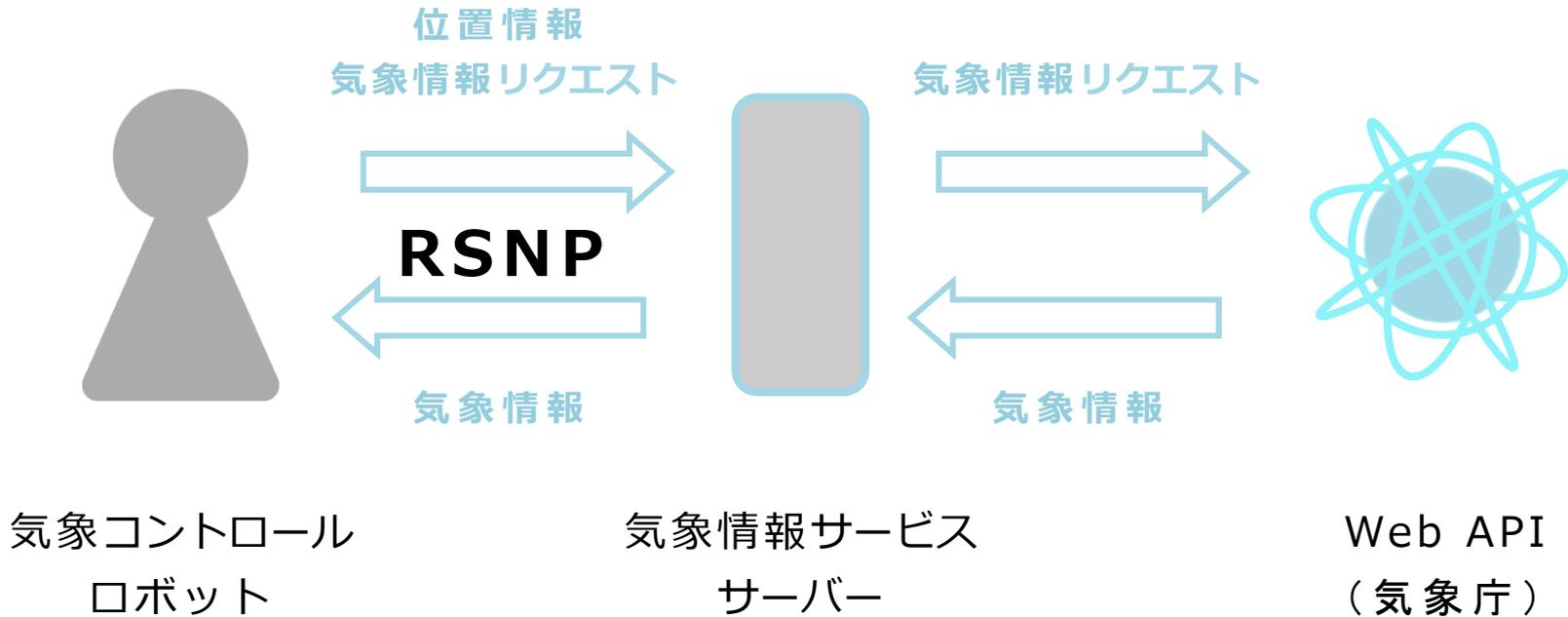
1. 気象をコントロールしようとする

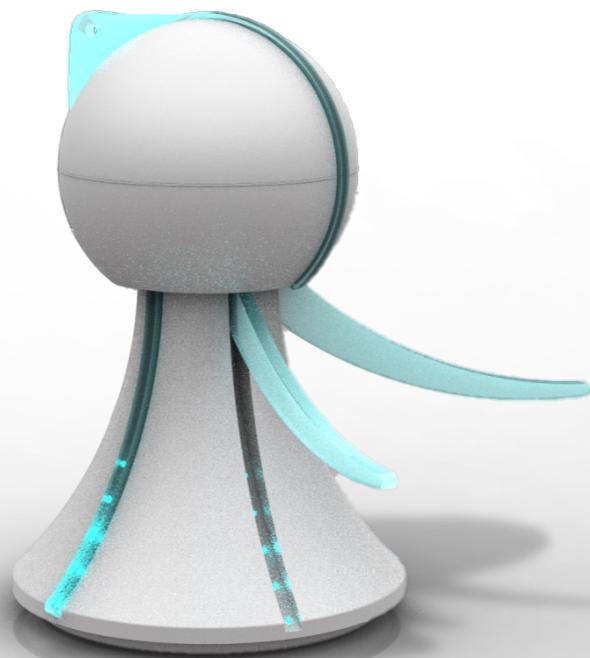
インターネット上の気象情報入手し、天候に応じて形態が変化する

雨：「てるてる坊主モード」光を発し、晴れを祈るかのような動作をする

晴：「雨乞いモード」光を発し、雨乞いをしているかのような動作をする

2. インテリアとして生活空間に置きたくなる





雨乞いモード



てるてるモード



気象コントロールロボット 使用シーン

まとめ

1. RSNP活用のシンプルな事例として提案した
⇒ RSNP活用の裾野を広げるための一助としたい
2. 日本の「祈り」の文化をモチーフに、「てるてる坊主」と「雨乞い」という相反する「願い」をロボットの動作により一つのデザインにまとめた
⇒エンターテイメント性を持ったインテリア小物としてのデザイン
3. 「天気予報」という極めて一般的な情報を使い "Companion Robot" コンセプトを具現化した



END of Document

